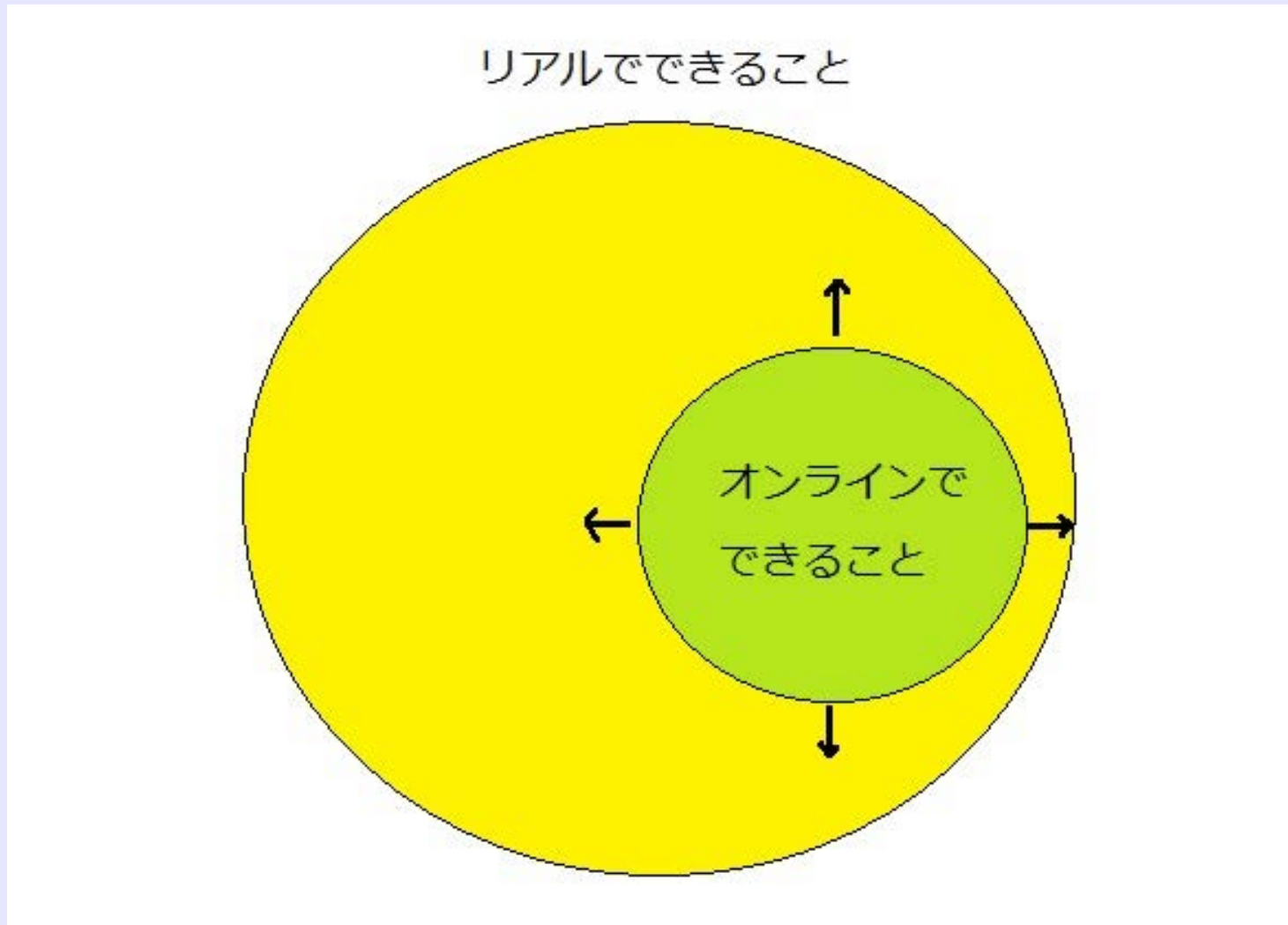


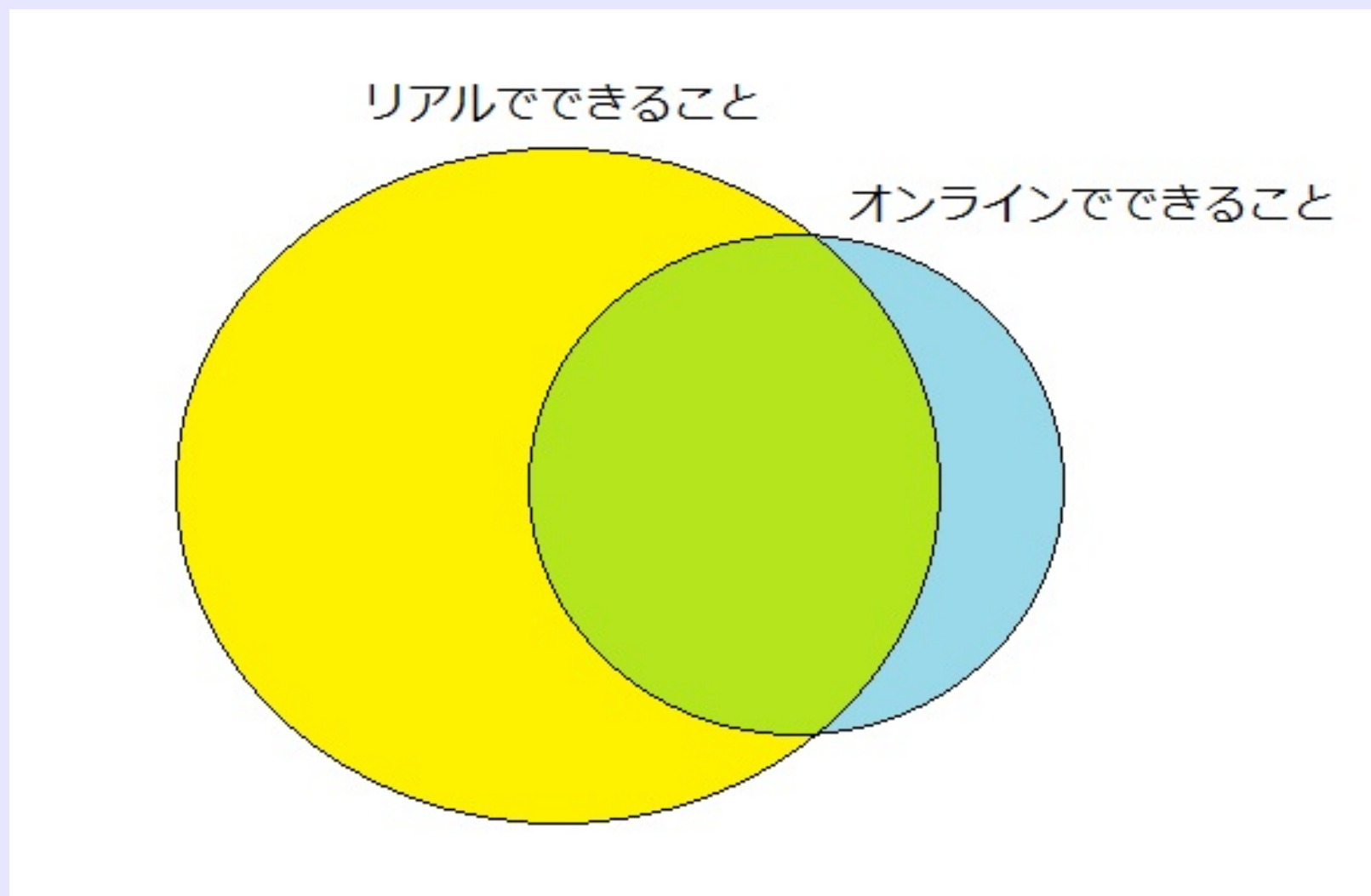
リアルの劣化版ではないオンライン学習とは何か？

田原真人(トオラス共同創業者)

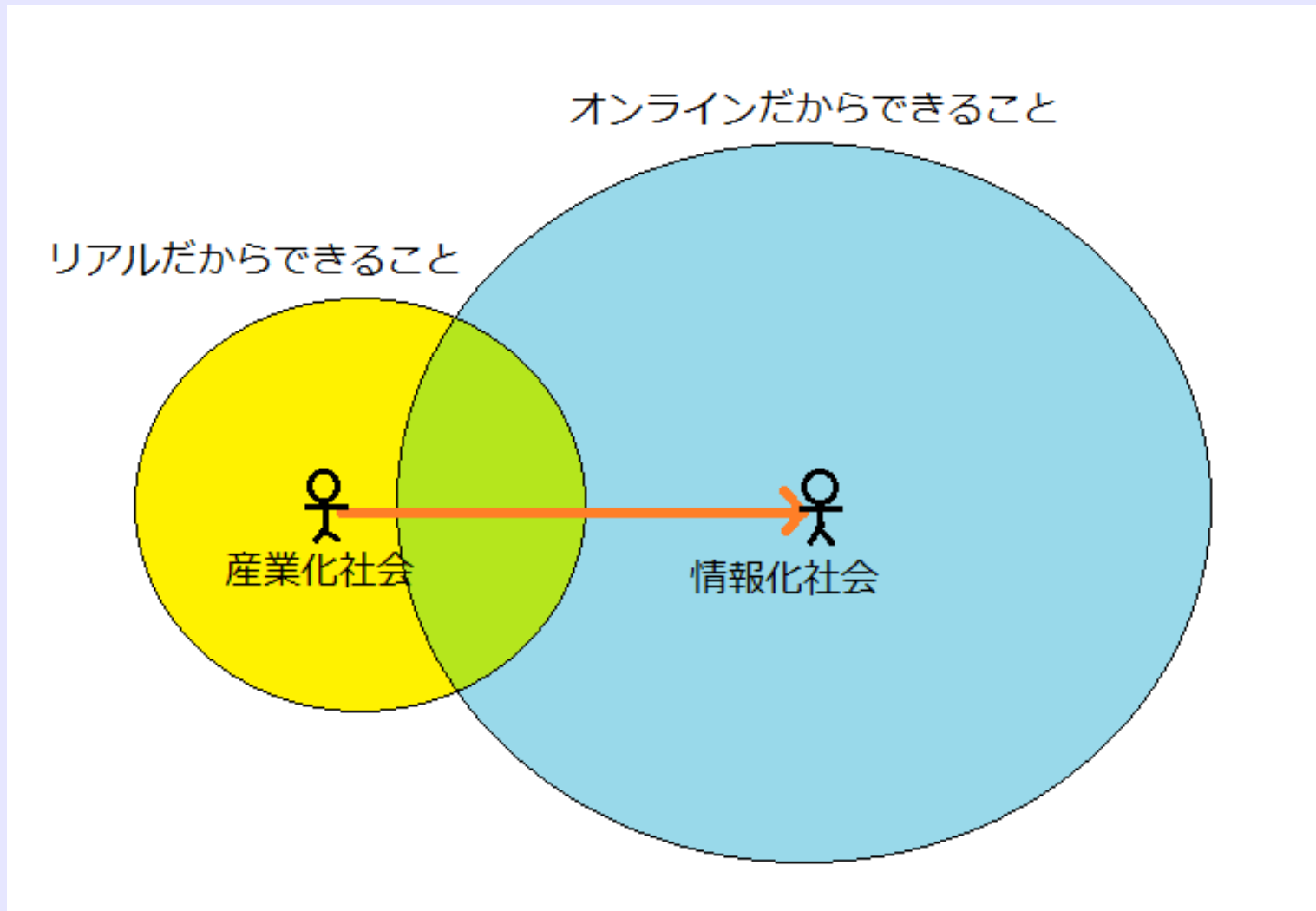
# オンラインはリアルの劣化版？



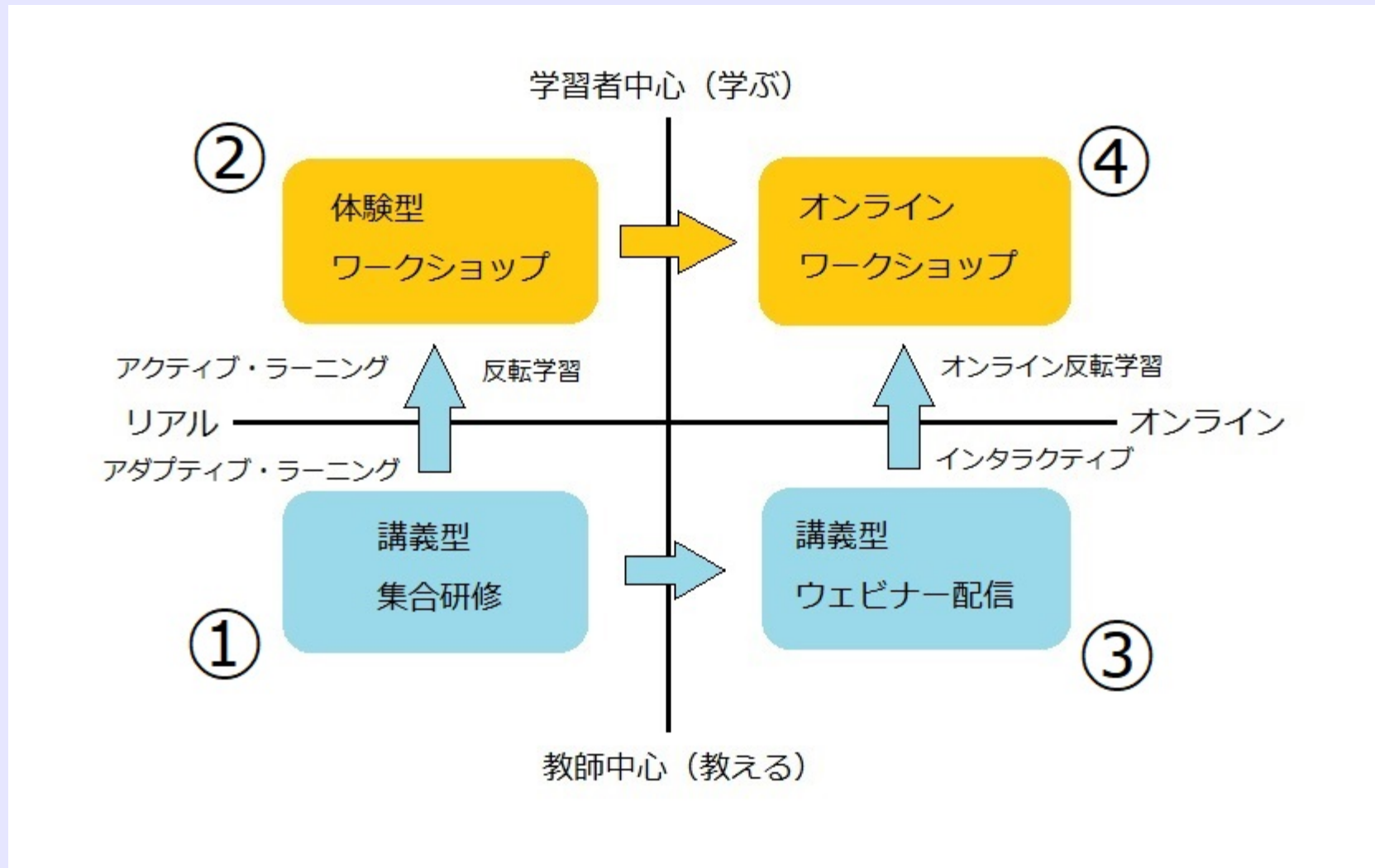
# オンラインだからこそできることは？



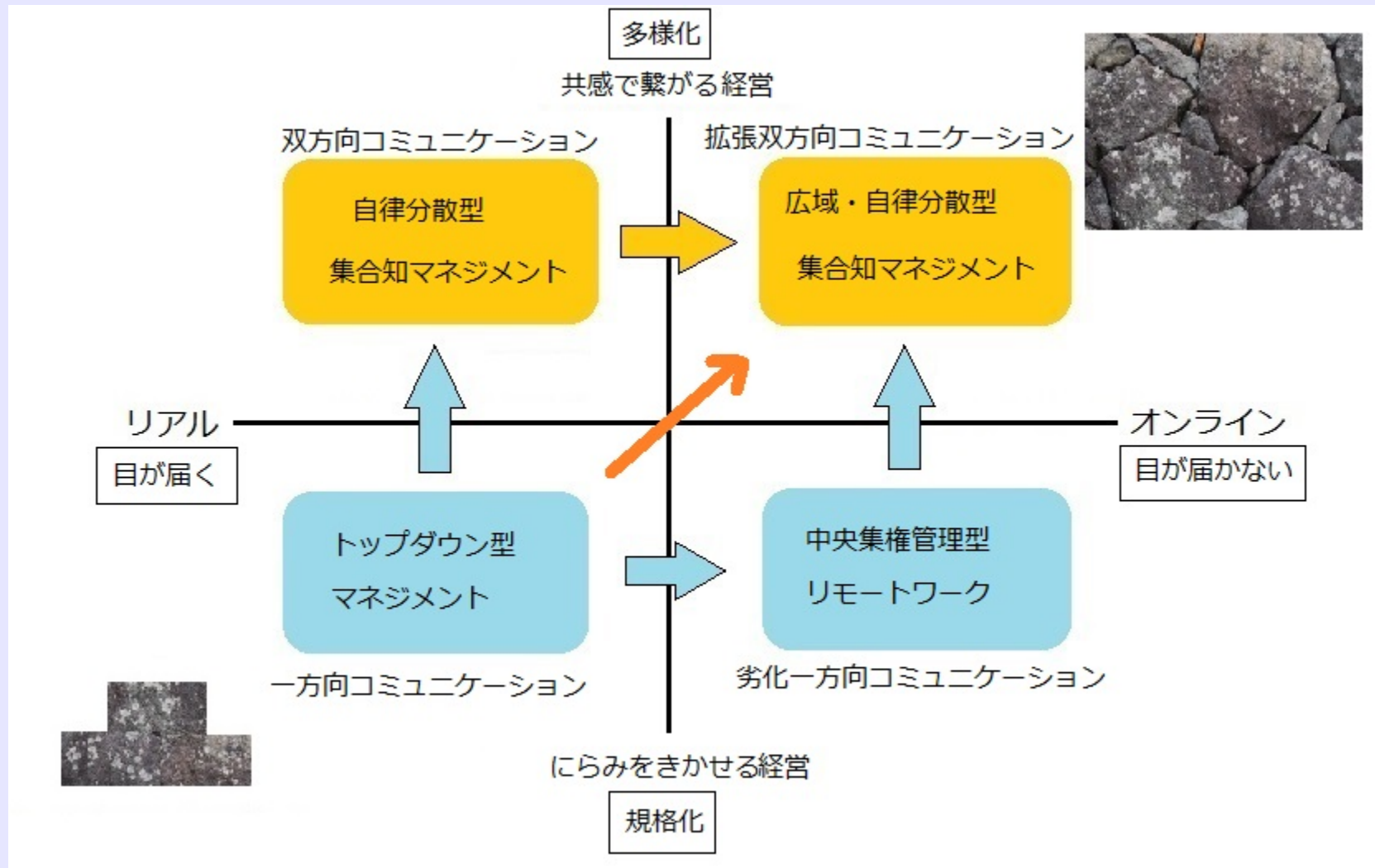
# オンライン側からリアルを見る



# 学びの4象限

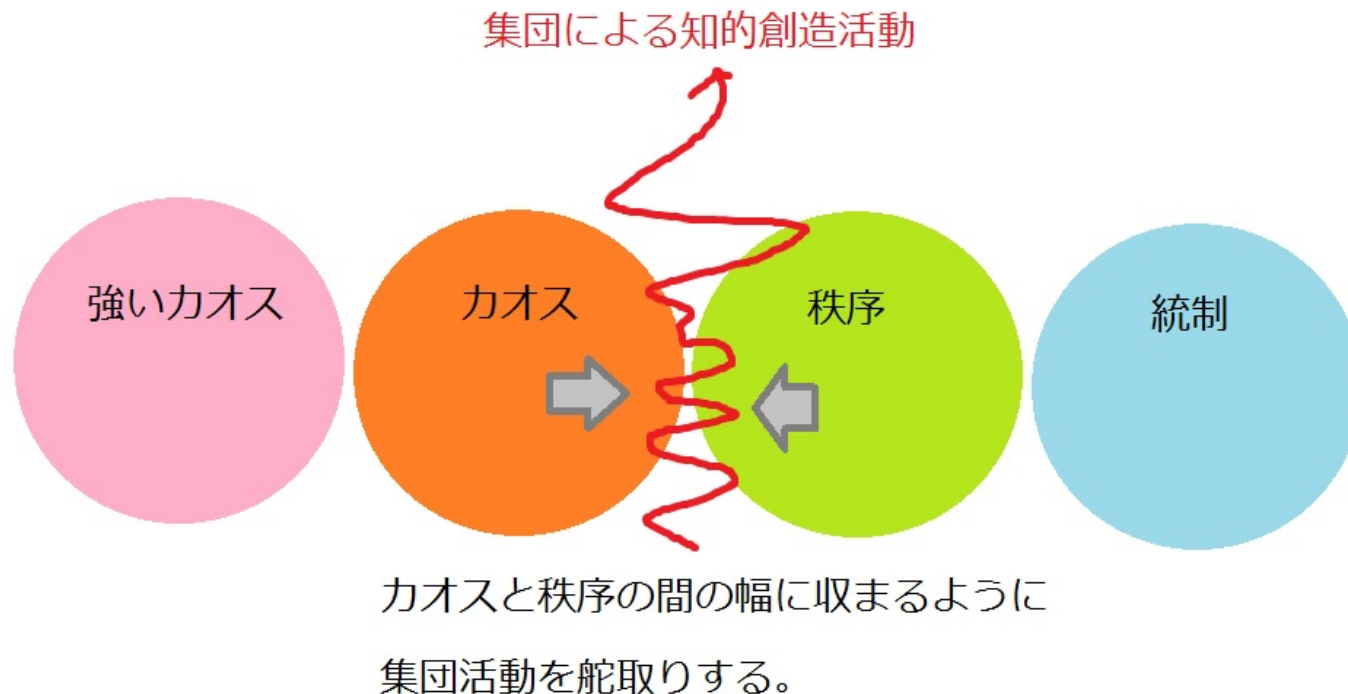


# マネジメントのパラダイムシフト



# ファシリテーションとは？

人々の活動が容易にできるよう支援し、うまくことが運ぶよう舵取りすること。  
集団による問題解決、アイデア創造、教育、学習等、あらゆる知識創造活動を  
支援し促進していく働き



# デジタルファシリテーションとは？

## デジタルファシリテーション

デジタルテクノロジー（ビッグデータ・AI・Web会議・アプリなど）の活用

### 非同期

テキストファシリテーション

動画の活用

### 同期

対面ファシリテーション

オンラインファシリテーション



身体性のチャンネルの代わりに  
ビッグデータのチャンネルを使って  
場を見る

# 多様な考えの可視化

← STEP 5\_振り返り

1P 26 3 提出済: 37/49 (参加人数: 41) 絞り込み

STEP 5の振り返り

一から多へのグループ

先生用メモ

1\_あやちゃん平方

STEP 5の振り返り

チームでの喜びの促進→シェア。質問し答え合う。対話ができる状態。各自の役割:自然と担う。責任や負担なく自然に行いたい。役を遂行できるとモチベーションがあがるのか。

STEP 5の振り返り

自分の源につながる

STEP 5の振り返り

役からは自然に担っているアクションや行動で場の源から生まれているものもあれば個人の持ち味で生まれているものもある。場の源で生まれている“役”にとらえらる、軽やかで多数かかえることができそうだが、“役割”にとらえらると単一で機械的パラダイムに陥りそうな感覚もしてきた。“役割”の自覚がなされたうえで、個人から切り離して場の源とつながって対話できると、自然と誰がとってもいい“役”に見えてきそうなのが嬉しい。大切なことはどの源でそのものを見つめるか。

STEP 5の振り返り

ワーク1

ワーク2

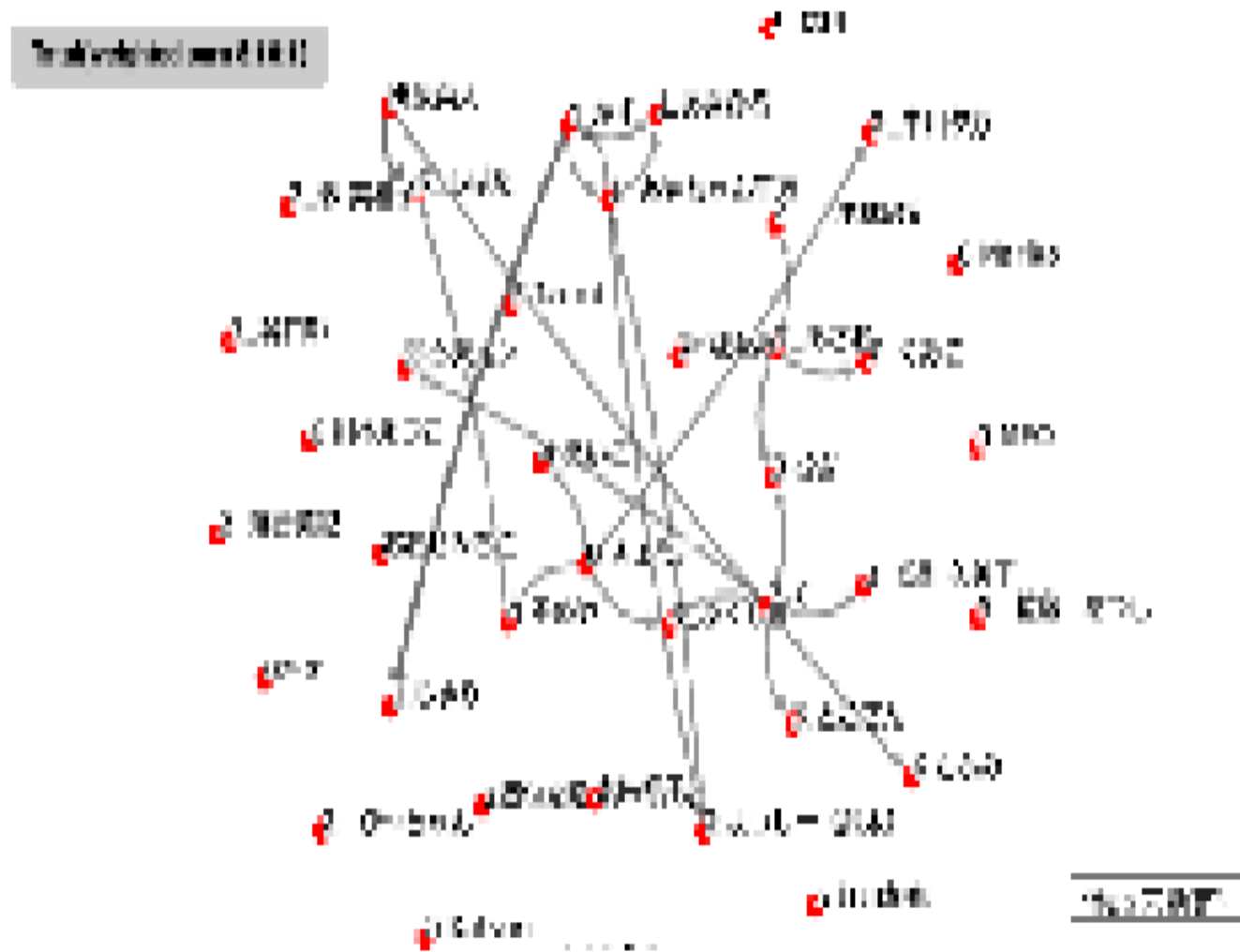
# 文脈の可視化



# アルゴリズムによるグループ化



# グループ行動の可視化



# スキャナマインドによる構造化

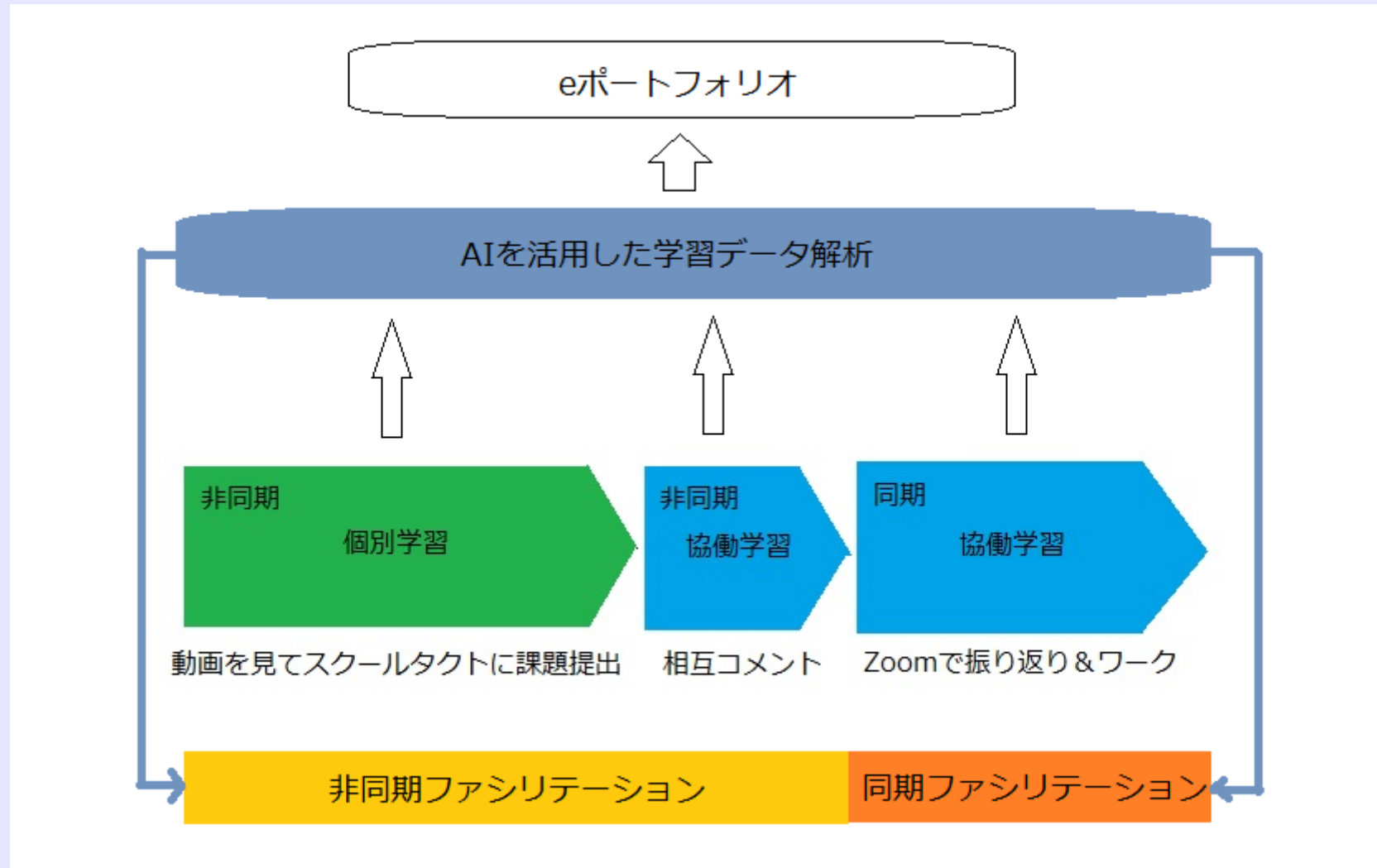
YAMI大とは? の概念構造 Scanamind®

Page 9 of 21

◀◀ 戻る 次へ ▶▶

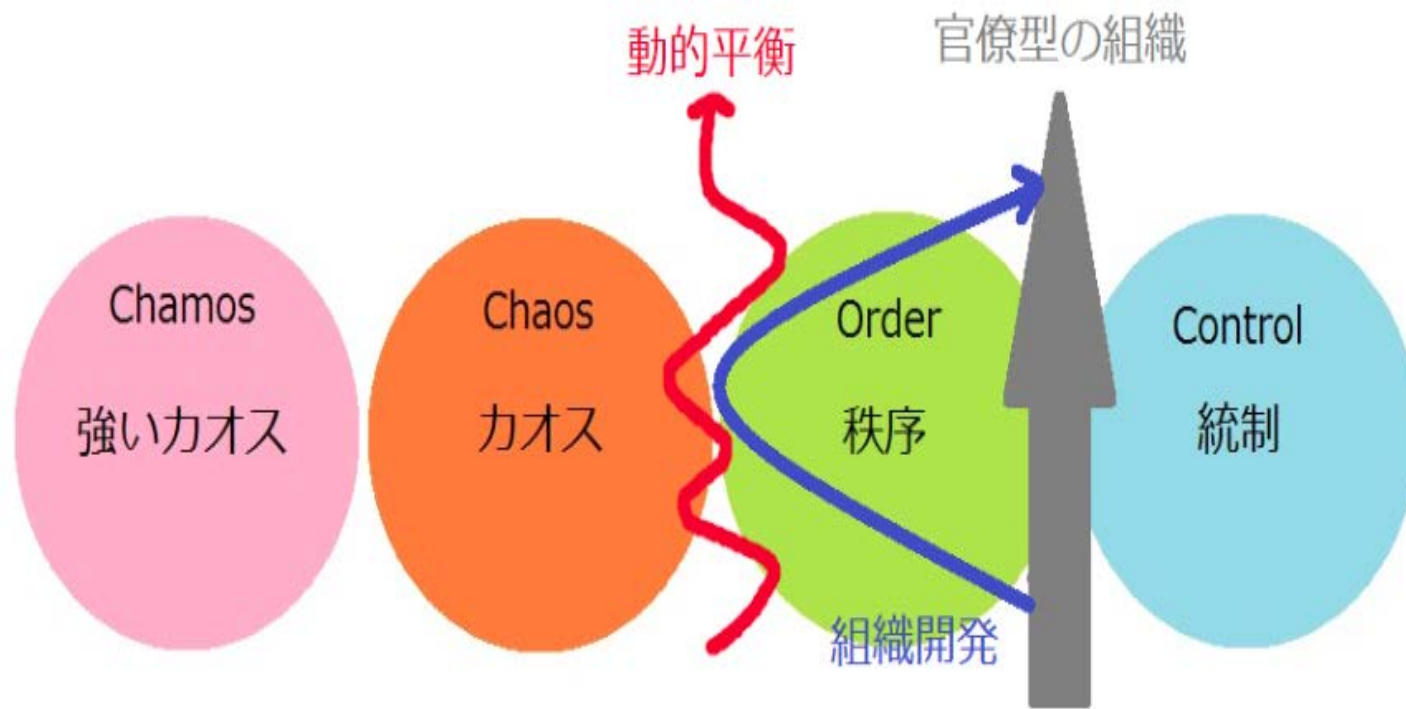
何も存在しない空白エリア（【?】マークを表示した場所）が2箇所あります。もしかすると、項目のリストアップ時に、漏れがあったのかもしれません。その場合は、近くにある項目の共通点を頼りに漏れた項目を発見できる可能性があります。逆に項目同士がくっつきすぎている場合は、項目のリストアップ段階で「ダブリ」があったことを示唆します。

# デジタルファシリテーションの位置づけ





# 創造的集団活動の新しい最適解？





デジタルファシリテーション構想

noteで連載中